

## 令和4年度第6回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和5年3月2日（木） 午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所 浜松市役所 61会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗
	西区社会福祉課	宮本 明浩
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
		阿部 祥美
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		玉澤 卓也
		大軒 優一
		玉木 祐次郎
	障害保健福祉課 生活・就労支援グループ	柴田 多美子
		青柳 聖弥

## 4 議事内容

- (1) 北エリア連絡会活動報告
- (2) 専門部会について
  - ・来年度専門部会で取り組むワーキングについて
  - ・子ども部会部会員について
- (3) 日中サービス支援型指定共同生活援助事業者との意見交換について
  - ・今年度の事業所フィードバックについて
  - ・来年度の実施方法について
- (4) 令和5年度スケジュールについて

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 青柳

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

## 7 会議記録

### (1) 北エリア連絡会活動報告

<北障がい者相談支援センター長から『令和3年度移動に関する困りごとワーキング』について報告>

- ・目的：前年度のアンケート調査結果をもとに、より具体的な『移動に関する困りごと』を確認し、北エリアの課題に対して取り組めることを確認する。
- ・内容：移動に関することで『通所』に困りごとを抱えている方で、引佐町にお住いの方に焦点を絞り込み、聞き取り調査を実施。
- ・まとめ：『移動に関する困りごと』を抱えた方の声に対しては、事例検討部会にて個別の課題として捉えて検討する。また、本ワーキングを通じて、「家族が高齢になると、住み慣れた地域で暮らし続けたいと思っても、社会資源の不足により、希望とは異なる生活を余儀なくされる方がいるのではないか」という意見が聞かれた。この仮説についても、北エリア連絡会として協議していく。

<感想等>

- ・生活している人にとっての当たり前は、本ワーキングの取り組みをしなければわからなかったところだと思われる。5年、10年後を見据えて仮説の検証をしていくことが重要である。
  - ・アンケート調査の対象について、地域や障害種別を確認したい。
- 北区内にある障害福祉サービス事業所に対し、北区に居住する人を対象に実施した。
- ・取り組みを通して、障がい福祉サービス事業所がサービスの伸びしろを増やしてくれたことも、ワーキングの成果だと感じる。

## (2) 専門部会について

### ○来年度専門部会で取り組むワーキングについて（各エリアから報告）

#### <西・南エリア連絡会>

・テーマ：防災

・令和3年度から活動を開始した。ワーキング活動は今年度で一旦区切りとなる。来年度は、福祉避難所の開設訓練のビデオを事業所で見てもらい、意見交換しながら福祉避難所の知識を増やしていく中で、実際の対応について検討していく。

・活動を通して多くの課題があることがわかった。また、防災は全市的な課題でもある。エリアのみでは活動展開に限界があるため、課題の整理や展開していくにあたっての方法等について協議していきたい。

#### <浜北・天竜エリア連絡会>

・テーマ：課題解決部会で検討してきた、特別支援学校在宅の肢体不自由児卒業後の進路の課題検討会について。特別支援学校（西部・浜北）卒業生を見込みながら、生活介護の地域の受け入れ状況について共有しつつ、医療的ケア児の受け入れの裾野を広げるための協議を実施してきた。エリア連絡会としては、構成員からの意見やエリア内生活介護事業所看護師および訪問看護ステーション看護師への調査を通して、今年度は看護師交流会を開催した。

・特別支援学校からは、浜北区天竜区以外の生徒の進路調整についても苦慮しているという声があるなど、全市的な課題として取り扱う必要があると考える。

#### <東エリア連絡会>

・テーマ①：余暇支援

・障がいのある人の余暇支援の場がなく、エリア連絡会で検討してきた。現在、集団移動支援を活用する方向で進めており、障害保健福祉課に確認し取り組んでいく。移動支援事業所の受け入れ幅が広がればと考えており、移動支援事業の研修等実施して、企画会議で報告していきたい。

・テーマ②：障がい児を養育するシングルマザーの養育支援について

・計画相談からの相談。母はこどもを大事にしたい、仕事もがんばりたい一方、仕事と育児に疲弊している状況もある。障害福祉サービスの利用を提案するが、様々な要因から支援が進んでいない。母の障がい受容について丁寧に支援していきたい。また、児の登校支援について、制度の活用を検討中。地域にある支援として子ども食堂があるが、身近な地域では週1回、月1回程度の実施であることから、先進地区の事例を確認しながら検討できたらと考えている。エリア全体会でワーキング発足の了解を得たので、これから検討していく。

#### <中エリア連絡会>

・テーマ①：バリアフリー住宅の情報発信

・テーマ②：日中の過ごし方（日中一時支援の活用）

<北エリア連絡会>

・テーマ：強度行動障害の方や、そのご家族が安心して生活できる地域を目指す。

・今年度北エリア連絡会で発足したワーキング。北区に居住する強度行動障害を持つ人への実態調査を実施し、北区内でチームを組んで支援の検討をモデル実施した。事例検討では、今すぐ実施したい対象者の居住区が北区以外であるなど、絞り込みに苦慮した。今年度は支援方法を一緒に考えるというよりは、改めてヒアリングを実施し、事業所の環境面や支援状況を共有していく。また、今年度研修を開催し、支援者間のネットワーク作りは継続性が求められるところだと再認識した。仕組みづくりについて、来年度も北エリアで本ワーキングを継続し、チーム作りをしていきたい。一方、北エリアだけの課題ではないこと、実態調査から他エリアに支援を検討したい人がいるというところで市として取り組みたいと考える。

<意見>

・東エリアのテーマ②について、ワーキングの構成員を確認したい。  
→母が支援を受けることを希望するかが前提になると考えている。児は放課後等デイサービスを利用しており計画相談が支援していることから、母の不安軽減のために児の支援に携わっている人に入ってもらえたらと考えている。

・シングルマザーの障がい児の養育について、子どもの進学や元夫とのことなど、法律に関する子どもの権利擁護のための法律相談のニーズが結構ある。また、高校進学というところで経済的に行き詰り、希望する進路が取れないことに関して、民間から経済的な支援を受けるところもあり、本ケースも同様のことが想定されることから、東エリアの取り組みが全市に広がっていくと良いと感じた。

・ハイリスクの家庭であり、子育て支援課に加わってもらえると良いのではないかと。

・西南エリアの防災について、個別避難計画のモデル作成はどのように実施しているのか。  
→現在3件実施している。他市の様式を用いて、自治会の協力も得て作成を進めている。自治会で作成するものであるが、障害特性の理解や件数が多いなど課題が多い。また、作成後には定期的な見直しが必要である。名簿記載者全ての人に作成するのは現実的ではないことから、優先順位をつけて計画を作成していくといった協議が全市的に必要だと感じる。

・浜北天竜エリアの課題について、市全体で検討していく具体的な内容を確認したい。  
→進路がポイントだと思っている。特別支援学校の先生方が進路の状況を共有する場があるなど、既存の会議で取扱うことができれば、その会議体から市全体の課題としてあげていくことも良いと感じている。部会活動を通して裾野を広げるという視点で交流会を開催した。日頃の支援について共有することが対面で実施できたというところに効果があった。参加者に聞くと、日ごろ集まる機会がないとのことであったため、市でも看護師向けの研修は開催していることから、交流会のような場も設けてもらえるとありがたい。

・医療的ケア児コーディネーターも、今年度看護師向けの研修を開催した。参加者から、

対面開催を希望する声があったことから、来年度は状況によるが対面で実施していきたい。  
エリアごとで看護師に集まってもらうことを考えていくにあたり、委託センターにもご協力いただきたい。

#### ○こども部会部会員について

<意見>

・令和6年度に児発センターの役割が強化されることから、児発センターに参加してもらいたい。

・委託センターからの参加はどうか。

→ご意見いただきたいときにお声掛けしたい。

#### (3) 日中サービス支援型指定共同生活援助事業者との意見交換について

##### ○今年度の事業所フィードバックについて

<北エリア連絡会から報告>

・来年度の意見交換に向けて、事業所が重点的に取り組みたいところとして、日中支援の充実を検討しており、来年度の意見交換で重点的に協議していきたい。

<意見等>

・各エリア連絡会からの報告様式がない。→事務局で作成する。

##### ○来年度の実施方法について

<事務局から説明>

・協議の場の役割と機能を、①エリア連絡会との意見交換、②企画会議（もしくは法人ごとに設けた場）での評価、の2つに分けた。②では、エリア連絡会との意見交換をもとに、事業者に対し、評価や必要な要望、助言等を行う。

<意見等>

・事業者へのフィードバックについて、事業者の出席は誰を想定しているか。

→事業所の法人担当者を想定している。

・法人ごととしていること理由はあるか。

→フィードバック内容に改善点が含まれていた場合に、他法人が同席する必要があるかといったことも含めて、事務局で再検討したい。

#### (4) 令和5年度スケジュールについて

<事務局から説明>

・来年度は障がい者計画の策定年度になっており、それに合わせて会議日程の変更をお願いする可能性がある。

次回企画会議：5月25日（木）午前10時～ 32会議室

